



SDGs フェス開く

オオスミ

オオスミ(大角武志代表取締役)は13日、横浜市開港記念会館でSDGsプレゼンフェス「第3回ラウド&ピース」を開いた。「炭素を出さない生き方・働き方」のテー

マに沿って、環境問題の専門家が、難しく思われがちな環境問題を楽しくポシティブに来館者に伝えた。

大角社長は「今回のラウド&ピースを通して企業の方だけでなく、一般の参加者にもSDGsについて楽しく知ってもらうことで、少しでも環境活動を社会に広めるきっかけになればうれしい」と活動の狙いを述べた。

当日はフォーラム環境塾副塾長の杉島和三郎氏をはじめ、環境活動に携わる5人の担当者が「1920年代の生活を垣間見る」や「低炭素生活を 실현するー食べることに関するチェンジアクションのすすめ」などと題し講演した。講演後には質問コーナーやパネルディ

スカッション「写真」を
実施した他、横浜市開港
記念会館の見学ツアーも
行った、参加者は幅広く環
境問題を学びながらフェ
スを楽しんだ。

建通新聞 神奈川 (2024年9月19日発刊) に掲載されました!